

第1回臨時議会

財産の取得など原案可決

平成30年第1回臨時町議会が、2月5日に開催され、平成29年度補正予算1件、契約の同意2件、財産の取得1件の議案が原案どおり可決されました。

補正予算

一般会計の歳入歳出の予算に1,269万4,000円を追加し、予算の総額を51億7,927万9,000円としました。

契約の同意

・スポーツセンター建設工事請負契約の締結について議決をしました。
 ・紅葉川災害復旧工事請負変更契約の締結について議決をしました。



第39回さむさむまつり

さむさむまつりが2月4日、町公民館前特設会場で開催されました。この日は、雪の降る悪天候でしたが、会場には約2,000人が来場。青年4団体をはじめ、商工会女性部などの売店、太鼓演奏、キャラクターショー、HIPHOPダンス、綱引き大会などの催しで子どもから大人までが楽しみ、会場は盛り上がりました。また、町公民館では「地場特産品開発物産展」が同時開催され、日の出めんや太田醸造、北海道クノール食品、きらきら本舗などたくさんの店が並び、大勢の方が商品を買い求めていました。

綱引き大会優勝チーム

【ジュニアの部】ウインズ（訓小）
 【レディースの部】
 レッドオニオン（訓子府・北見）
 【オープンの部】
 夜は元気暴れん坊将軍（訓子府・北見）



前日には、町商工会青年部主

催の「くんねつぶさむさむナイト」が町公民館前特設会場で開催され、焼き肉や抽選会、雪像のライトアップなど、会場を訪れた多くの方が寒い冬の夜を堪能しました。

平成29年度定期監査

「事務事業は適正に執行、管理」

定期監査は、地方自治法に基づき年1回以上の実施が義務付けられています。

今年度も町監査委員が、平成30年1月31日から2月2日までの3日間で、平成29年12月31日現在における財産状況および事務事業の執行状況について、各課に書類の提出と担当職員の説明を求め、定期監査を行いました。

また、現地調査は、平成29年10月10日に行いました。

■今年度の主な監査項目

- 書類調査
- 財産の取得
- 堆肥供給センター攪拌機更新に係る本イールロー・ダーラーの取得について議決をしました。
- 合意書
- 備品管理状況
- 社会資本整備基金（農地整備基金）積立見込みと財源及び支消見通し
- 合葬墓の設置状況と利用状況
- 訪問入浴サービス助成の交付（見込）状況
- 商工業就労助成金、後継者助成

【監査の結果及び意見】

本年度の定期監査は、一般会計、特別会計、企業会計の6会計（業務期間平成29年4月1日～平成29年12月31日）について、事務事業の執行状況と成果の状況を監査内容は、各課等の共通事項として備品管理、特に購入状況と廃棄処理状況、個別事項としては担当事務、事業のうち13項目と5課等については所管している団体の経理事務管理状況の3点です。

監査方法は、各課等から事前に提出された資料について担当職員の説明を受け、質疑などを行い、関係書類の突合、点検を実施するものです。

この結果、それぞれの監査項目について法令等に従い、適正な執行管理が行われていることを認めます。

なお、訓子府町民の生活、福祉、産業、教育文化等を支えるため多くの公共施設やインフラ資産があります。今後、これらの資産の改修、更新等に多額の経費が予測されることから、その対策として訓子府町公共施設等総合管理計画（計画期間平成28年度～平成37年度）を基本として進められるとともに、ソフト面の福祉施策等も含め基金の有効な処分、運用を図りつつ、財源と投資のバランスに配意した行政運営を望みます。

（監査委員）



現地調査の様子

